

今昔京ニ有所ニ被青侍有ケリ、爲事ノ无カリケルニヤ、人ノ詣ケルヲ見テ、清水ヘ千度詣二度ン
參タリケル、其ノ後幾ク程ヲ不經ズシテ、主ノ許ニシテ同様也ケル侍ト雙六ヲ打合ケリ、二千度
詣ノ侍多ク負テ可渡物ノ无カリケルヲ、□□強ニ責ケレバ、思ヒ侘テ云ク、我レ露持タル物无シ、
只今貯ヘタル物トテハ、清水ノ二千度詣タル事ナン有ルヲ、其レヲ渡タサムト云ヘバ、傍ニ見證
スル者共此レヲ聞テ、此レハ打量ル也ケリ、嗚呼ノ事也ト嘆ケルヲ、此ノ勝タル□□□□此系吉
事□□□□□□二千度詣ヲ渡サバ、速ニ□□□□□□云ヘバ、勝侍ノ云ク、否ヤ、此クテハ
不□□□□□□□□□□御前ニシテ事ノ由ノ申テ、慥ニ己レ渡ス由ノ渡文ヲ□□□□□□
テ、金打テ渡セバ、請取ヌト云ヘバ、負ケ侍糸吉事也ト契テ、其ノ日ヨリ精進ヲ始テ三日ト云日、勝
侍負侍ニ然バ、去來リ參テント云ヘバ、負侍嗚呼ノ白物ニ合タリト思テ共ニ參ヌ、勝侍ノ云フニ
隨テ、渡由ノ文ヲ書テ、觀音ノ御前ニシテ師ノ僧ヲ呼テ、金打テ事ノ由ヲ申サセテ、其ガ二千度參
タル事、慥ニ其ニ雙六ニ打入レツ書テ與タリケレバ、勝侍請取テ臥シ禮ムデ、其後幾程ヲ不經ズ
シテ、此ノ打入タル侍、不思議ヌ事ニ係テ、被捕テ獄ニ被禁ニケリ、打取タル侍ハ忽ニ便有妻ヲ儲
テ、不思議人ノ德ヲ蒙テ、富貴ニ成テ官ニ任ジテ樂クテゾ有ケル、三寶ハ目ニ不見給事ナレドモ、
誠ノ心ヲ至シテ請タリケレバ、觀音ノ哀レト思シ食ケルナマリトゾ、聞人此ノ請取タル侍ヲ讚
テ、渡シタル侍ヲバ慥ミ、謗ケルトナム、語リ傳ヘタルト也、

〔宇治拾遺物語〕「これも今はむかし、京極の源大納言雅俊といふ人おはしけり、佛事をせられけ
るに、佛前にて僧に鐘をうたせて、一生不犯なるをゑらびて、講を行なはれけるに、ある僧の禮盤
にのぼりて、すこしかほけしきたがひたるやうに成て、鐘木をとりてふりまはして、うちもやら
で、まばしばかりありければ、大納言いかにと思はれけるほどに、や、ひさしく物もいはであり
ければ、人どもおぼつかなく思けるほどに、この僧わな、きたるこゑにて、かはつるみはいか